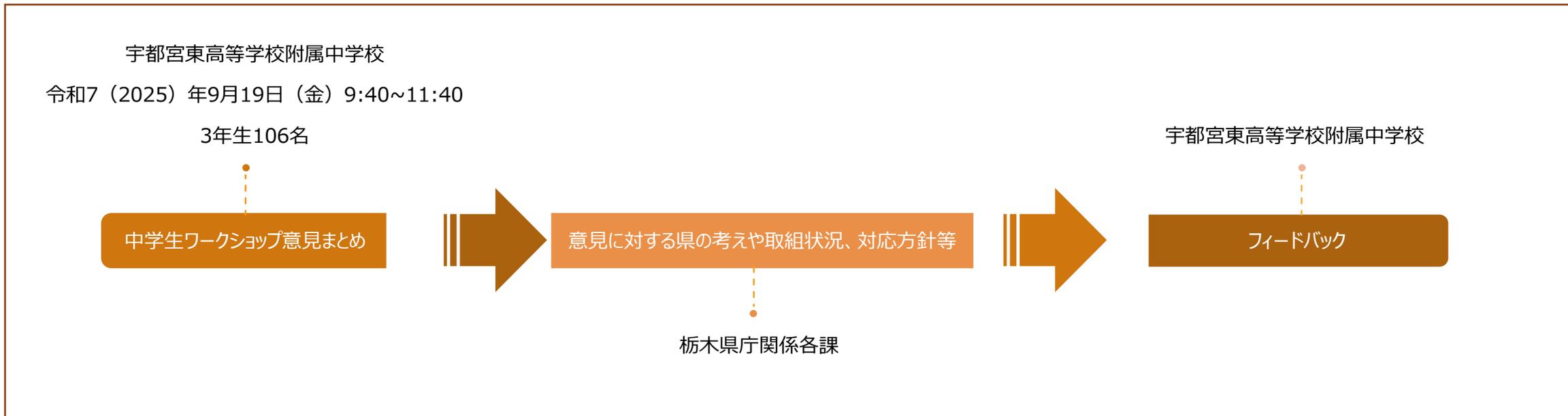


# 令和7（2025）年度 中学生の意見に対する県の回答

【宇都宮東高等学校附属中学校】



# 令和7（2025）年度 中学生ワークショップ



## フィードバック表記について

- ・実際にあがった声を分野別などにわけてまとめております。
- ・個別にお答えできるものについては個別回答をしていますが、回答内容が共通していたり、全体として回答した方が効果的である場合はまとめた回答としております。

# 今回のテーマについて

テーマ:大人になっても栃木県に住み続けるためには何が必要だろう？

栃木県の課題を踏まえて皆さんが、「こんなところがあったらいいな」「こうだったらもっと住みやすい」そんな素直な気持ちやアイデアをまずは、近くの人と話してみよう。そのあと、みんなでどんな考えやアイデアが出たか共有しましょう！

皆さんから出た意見を踏まえて、グループごとにテーマについて話し合ってみよう！

今回のテーマ	取組
A：子育て	保育園に通うこどもの負担を減らすために保育料を一部補助（助成）
B：教育	A   学習アプリなどを用いた学習指導に関する研究の推進（研究）
C：仕事	女性が働きやすい職場を増やすために、情報通信業などのオフィス設置を支援（整備）
D：健康	救急医療に必要なデータ分析・課題の整理（情報整理）
E：安全・安心	犯罪を未然に防止するため、住民へ犯罪発生・不審者情報等を配信（情報発信）
F：自然・環境	お店などと連携して、ごみ拾いキャンペーンを実施（イベント）



# A：子育て

## 経済的支援

意見概要	詳細（意見概要の補足説明）	意見に対する県の考えや取組状況、対応方針など
支援制度の周知を徹底する。	経済的な支援制度はあるものの、制度が知られていない。	<p>県では、妊産婦やこどもに対する医療費の助成、保育所等に通う第2子以降の0～2歳児の保育料の免除など、様々な経済的支援を行っています。</p> <p>しかし、このような支援制度が皆さんに十分に知られていない現状を課題として認識しています。</p> <p>そこで、令和6年3月から子育てに関する支援制度など、様々な情報を紹介する「栃木県子育て支援ポータルサイト（とこぼ）」の運用を開始しました。</p> <p>こちらのサイトは、皆さんが見やすいデザインや分かりやすい表現などを意識して作成しています。本サイトを活用して、より多くの方に支援制度などを知っていただけるよう、今後も取り組んでいきたいと思ひます。</p>

## 育児環境の整備

意見概要	詳細（意見概要の補足説明）	意見に対する県の考えや取組状況、対応方針など
こどもが安心して遊べる公園や室内施設などの整備	LRT沿線に新設し家族でアクセスしやすくする。	<p>こどもが安心して遊べる場を整備することは子育て世帯の方にとって重要であり、こどもの健全な育成にも欠かせないものだと思います。</p> <p>県では、栃木県総合運動公園をはじめとする9つの県営都市公園において、こどもから大人まで幅広い世代が楽しめる遊戯施設や運動施設等の整備に取り組んでおり、今後も皆さんが安心して遊べる場の整備を進めていきたいと思ひます。</p>
	自然環境に触れあえる場所があると良い。	

# A：子育て

## 地域・社会の仕組み

意見概要	詳細（意見概要の補足説明）	意見に対する県の考えや取組状況、対応方針など
地域で育てる仕組みづくり	近所付き合いや助け合い文化を促進する。	<p>地域全体で子どもを見守る活動は地域コミュニティの活性化などに大きく貢献するものと思います。</p> <p>県では、日常生活等のなかで行うことができる「ながら見守り」活動を推進しています。できる時に、できることを、できる範囲で「ながら見守り」を実践し、地域や子どもたちへ見守りの目を向けることで、防犯効果を高めることができます。</p> <p>今後も自主防犯意識の高揚や「ながら見守り」活動への参画につながるよう、周知啓発に努めてまいります。</p>
シニアタイミー（高齢者による子育て支援）	時間に余裕があったり、子どもが好きな高齢者と子育て家庭のマッチングを行い、必要な時にすぐに呼ぶことができるシステムをつくる。この取組により、地域コミュニティの活性化も期待できる。	<p>現状として、子どもを受け入れる体制が不足しているため、時間に余裕があり、子どもが好きな高齢者とのマッチングを行うことができれば受入体制不足の解消が期待できると思います。</p> <p>様々なニーズに合わせて、適切な人材とのマッチングができる支援体制を整えるための参考とさせていただきます。</p>
育児に対する社会的理解の促進	育児中の親への偏見を軽減し、育児休暇取得者への職場の理解を促進する。	<p>県では、育児に対する社会的理解の促進を図るため、様々な動画を作成して栃木県子育て支援ポータルサイト（とこぼ）において公開しています。</p> <p>より多くの方に視聴いただき、社会全体で子育てを支援する環境づくりを推進していけるよう、引き続き、普及啓発に努めていきます。</p>

# A：子育て

意見概要	詳細（意見概要の補足説明）	意見に対する県の考えや取組状況、対応方針など
会社に託児所を設置	働く親が安心して子育てできる環境をつくる	<p>働く方に安心してこどもを預けることができる場を整備することは重要だと思います。</p> <p>令和7年4月1日時点では、県内で届出がされている認可外保育施設のうち、事業所内保育施設は99か所（休止中を除く）、ベビーシッターは36人となっており、働きながら子育てができる環境整備が進められています。</p> <p>今後もより多くの方が利用できるよう取り組んでいきたいと思っています。</p>
	小規模企業向けにはベビーシッターや地域預かりサービスを充実させる。	

## 保育支援

意見概要	詳細（意見概要の補足説明）	意見に対する県の考えや取組状況、対応方針など
保育士の待遇改善	給与引き上げやシフト制を導入するなど柔軟に働けるように待遇を改善する。	<p>保育士が柔軟に働ける環境を整備することは重要であると思います。</p> <p>近年では、保育士の給与の基準となる額が引き上げられていたり、業務のICT化により保育士の事務負担が軽減されており、給与の改善や働きやすい環境の整備が進められています。</p> <p>今後も保育士の働きやすい環境の整備に向けて取り組んでいきたいと思っています。</p>
保育園、幼稚園検索アプリの開発	保育士、親の双方が条件にあった園を探すことができるようにする。このことにより、待機児童問題の解消も期待できる。	<p>保育士と親の双方から条件にあった園を探すことができる仕組みづくりは、効率良く探すことができるため、良いアイデアだと思います。</p> <p>「子ども・子育て支援情報公表システム（愛称：ここdeサーチ）」というWebサイトにおいて、全国の教育・保育施設や認可外保育施設の教育・保育内容等を検索できるようになっているため、皆さんに広く普及すると共に、皆さんが園を利用しやすくなる環境を整えていきたいと思っています。</p>

## B：教育

### 教育体制の改善

意見概要	詳細（意見概要の補足説明）	意見に対する県の考えや取組状況、対応方針など
教員に対する生徒投票	教員に対する指導が活性化されることに加え、生徒の「教育」に対する意欲向上につながる。	<p>生徒による教員の評価は、教育活動の多面的な評価につながる可能性があるとともに、教員の指導改善につなげるための手段の一つと考えられます。一方で、自分の成績がよければ教員に対して好意的になるなどの研究報告もあり、課題も指摘されています。</p> <p>生徒による学校評価の実施や、教育相談の設定など、教員に対する生徒の意見を反映させる機会はあることから、教員に対する生徒投票を行うことは想定しておりませんが、教員の適切な評価については、いただいた御意見も参考にしながら、今後とも様々な観点から研究してまいります。</p>
ディスカッションの場を増やす	生徒が意見を出すことができる場を創出する。	各教科の授業においては、互いに理解を深めたり、表現を磨いたりすることができるよう、自身の考えを基に意見交換する場を設定することは、大切なことです。また、学級活動や生徒会活動などにおいても、議論し合意形成を図ることで、より良い学級・学校づくりにつなげることができると思います。ディスカッションの場などを通して、生徒一人一人のよりよい学びにつなげることができるよう取り組んでいきます。
義務教育の充実	地域によって教育の差が生じないように、教育水準を底上げする。	各市町には、それぞれの地域ならではの風土や文化などの特色があり、各学校においては、それらを生かした教育活動を展開することが大切だと考えています。各学校において、それらの強みを生かした魅力ある学校づくりを推進することができるよう取り組んでいきます。

## B：教育

### 教育環境の整備

意見概要	詳細（意見概要の補足説明）	意見に対する県の考えや取組状況、対応方針など
設備の充実	エアコンやトイレ、パソコンなど設備を充実にする。	学習環境をより良いものにするために、時代に則した施設・設備の充実が必要と考えており、実際にエアコンの設置やトイレの洋式化、タブレット端末の配付といった取組を実施しているところです。今後も学習環境の改善に向けた施設・設備の整備を計画的に進めてまいります。

### 教育機関の多様化・新設

意見概要	詳細（意見概要の補足説明）	意見に対する県の考えや取組状況、対応方針など
専門学校の充実	分野に特化した学校を増やす。	専門学科をおく高校では、農業や工業、商業等それぞれの専門分野に特化した学習を深め、将来のスペシャリストとして必要とされる知識・技能及びそれらを活用する能力を持つ人材を育成しています。今後も専門高校の充実に取り組んでいきたいと思えます。
私立学校の魅力向上	偏差値の高い私立校を新設し、魅力増加につなげる。	大学等の新設については、県内高校生の進学意向や地域産業界のニーズ等を踏まえながら、大学側が検討する必要があると考えます。なお、県では、県内大学等の魅力向上と県内大学等への進学率の上昇を図るため、県内の高等教育機関で構成する「大学コンソーシアムとちぎ」と連携し、若者の地元定着の促進をはじめ、グローバル人材の育成等、様々な事業を実施しています。

## B：教育

### 文化施設の充実

意見概要	詳細（意見概要の補足説明）	意見に対する県の考えや取組状況、対応方針など
図書館の設置	図書館がない地域に、勉強ができる図書館を設置する。	<p>皆さんが勉強ができる環境を望まれていることが分かりました。</p> <p>県内の公立図書館については、令和7年4月1日現在、県立1館、市立36館、町立11館設置されています。（ほか分館：市立5館、町立2館）</p> <p>県は、市町立図書館が地域住民の多様な学習要求に対応できるよう施設・設備を充実し、読書指導や住民の資料利用に対する情報提供、読書相談等、市町独自の図書館運営が行われるよう、引き続きその指導に努めていきます。</p> <p>また、県では、令和7年1月に美術館・図書館・文書館を一体的に整備する「文化と知」の創造拠点整備構想を策定しました。</p> <p>デジタルも活用しながら、誰でも、いつでも、どこからでも情報にアクセスできる環境を整えていくとともに、訪れた人の知的探究心に応えて、知り得た情報から新たな発見や出会いにつなぐ、魅力的な図書館を目指します。</p>

## C：仕事

### 通勤・移住支援の促進

意見概要	詳細（意見概要の補足説明）	意見に対する県の考えや取組状況、対応方針など
東京圏への通勤・通学の推奨	新幹線を利用した都内アクセスの利便性や東京近郊と比較した物価の安さをアピールする。	<p>都内へのアクセスの利便性は本県の強みであり、その強みをアピールすることは効果的であると思います。</p> <p>現在は、本県の東京圏への近接性や、東京と比較した居住費など、栃木県の暮らしの魅力を移住・定住ウェブサイト「ベリーマッチとちぎ」で発信しています。</p> <p>今後も多くの方にアピールできるよう発信していきたいと思っています。</p>
移住者向け支援	大学生や新社会人、都内通勤者向けに、家賃補助や定期券の割引制度などの支援を行う。	<p>一部の市町では、東京圏へ通学・通勤する方に向けて交通費の助成等を実施していることから、県では、これらの支援制度の取組について移住・定住ウェブサイト「ベリーマッチとちぎ」において広く発信しています。</p>

## C：仕事

### 就職の選択肢拡充

意見概要	詳細（意見概要の補足説明）	意見に対する県の考えや取組状況、対応方針など
企業誘致の工夫	県内の企業は理系職が多く、文系職（特に女性向け）が少ないため、大学や企業の「支部」誘致により文系職の不足を解消する。また、姉妹都市制度を利用して海外企業を誘致したり、「働きやすさ」を売りに中小企業を誘致する。	<p>県内での就職の選択肢を広げるために文系職、特に女性向けの企業を誘致することは重要です。県では、女性が希望するキャリアや働き方がかなうなど、女性の雇用創出効果が高い業種の企業誘致に積極的に取り組んでいます。</p> <p>また、海外都市と交流をする際、栃木県の観光地や農産物等の魅力を発信するだけでなく、東京へのアクセス性や県内産業団地の紹介も行っています。今後も、海外の交流先との繋がりを活かしながら、栃木県への企業誘致を図ってまいります。</p>
県内大学の機能強化	県内大学に医学部と法学部を設置し、進学の魅力向上を図る。	学部新設については、県内高校生の進学意向や地域産業界のニーズ等を踏まえながら、大学側が検討する必要があると考えます。なお、県では、県内大学等の魅力向上と県内大学等への進学率の上昇を図るため、県内の高等教育機関で構成する「大学コンソーシアムとちぎ」と連携し、若者の地元定着の促進をはじめ、グローバル人材の育成等、様々な事業を実施しています。
	優秀な人材が県内で一生を終えられるような環境づくりをして、地元発の大企業創出につながることを期待。	デジタルマーケティングを活用して県内大学生等にとちぎで暮らし働くことの魅力や県内企業に関する情報を届け、県内就職を促しています。

## C：仕事

### 会社制度・労働規則の改善

意見概要	詳細（意見概要の補足説明）	意見に対する県の考えや取組状況、対応方針など
会社規則の統一と是正	会社ごとの規則のばらつきを防止するために、社員個人ではなく、行政を通じて意見を反映させる仕組み。	会社ごとの規則のばらつきを防止するために行政を通じた調整は必要があると考えています。 県では、労働相談などを通して、厚生労働省が作成した「モデル就業規則」を参考に、各会社の実情にもとづき、社員のための労働条件や職場のルールづくりを支援しています。 今後も適切な就業規則が定められるよう、取組みを進めていきたいと思ひます。
	「社員の、社員による、社員のための政治＝社員主権」の考え方で進める。	
週休三日制の導入	栃木独自の制度として、週休三日制を導入するなどの休日制度を取り入れる。	県独自の制度として週休3日を取り入れるなどの働き方の多様化は、県の魅力のひとつとなると思ひます。 県では、現行のフレックスタイム制を活用した週休3日の勤務形態を試行したところであり、今後も、県内企業の週休三日制を含む誰もが働きやすい職場環境の整備を支援していきまひます。

# C：仕事

## 社会保障・働きやすさの向上

意見概要	詳細（意見概要の補足説明）	意見に対する県の考えや取組状況、対応方針など
日本一の社会保障を目指す	賃金の低さから移住を断念することを防ぐため、最低賃金の引き上げや給付金を充実させる。	移住者を含めて人材を確保する上では、賃金改善は重要であると思います。 県では、令和7年度から「とちぎ賃上げ加速・定着支援金」の支給を開始し、最低賃金引上を含む賃上げや男女間格差是正に取り組む企業を支援しています。
多様な働き方への対応	産休、育休の取得しやすい環境を整え、子育てとの両立支援を図る。	子育て世代や高齢者への就労環境を整備することは人材を確保し、多様な働き方を実現する上では重要であると思います。 県では、初めて男性従業員に育児休業を取得させた中小企業に対して「とちぎ男性育休推進企業奨励金」を支給するほか、企業の働き方改革を支援する講座の開催や専門家の派遣等により、男女ともに仕事と子育てが両立できる職場づくりを支援しています。
	定年制度の延長または廃止により、高齢者の就労支援を図る。	また、働く意欲のある高齢者については、就労支援コーディネーターによるニーズに応じた求人企業の開拓や、安心して働ける職場環境の改善に向けた企業への助言のほか、県内市町等と連携した求職者と企業とのマッチングの実施など、より多くの高齢者が、希望する就労ができるよう支援しています。 今後も多様な働き方を実現できるよう努めてまいります。

## C：仕事

### 地域資源を活かした仕事創出

意見概要	詳細（意見概要の補足説明）	意見に対する県の考えや取組状況、対応方針など
体験型テーマパーク「Food愛land」@鹿沼市	<p>観光地である宇都宮市と日光市を地理的につなぐ鹿沼市に特産品を活用したテーマパークを整備し、特産品の紹介・体験・消費による地域経済の活性化をする。</p> <p>テーマパークを整備することで、多様な雇用創出につながる。</p>	<p>観光客の訪れやすさを考慮して、特産品を活用したテーマパークにより雇用創出につながられている、とても良いアイデアだと思いました。</p> <p>県において、イベントを実施する場合などに参考にさせていただきます。県では、デジタルプロモーション等を活用した観光誘客を行っているため、整備された際は、県公式観光サイトや各種パンフレット、SNS等でPRしてまいります。</p>

## D：健康

### 運動・体力づくり

意見概要	詳細（意見概要の補足説明）	意見に対する県の考えや取組状況、対応方針など
運動施設（ジム・体育館）の設置	安価で誰もが気軽に利用可能な施設を整備する。	県ではスポーツ推進計画に基づき、誰もが運動を楽しめる環境づくりを進めており、栃木県総合運動公園をはじめとする県立スポーツ施設の運営や県立学校施設の開放などに取り組んでいます。また、市町にも多くのスポーツ施設があり、地域でさまざまな工夫が行われています。今後も、皆さんの意見を伺いながら、施設の利用環境をよりよくする取組を進めてまいります。
登山レースの開催	登山家、医療関係者と連携し、安全性に配慮しながら、自然の変化を楽しみながら体力づくりをする。	県では、自然歩道の整備・点検を行うとともに、自然公園利用者の皆様に対して安全な利用方法やマナーの周知に努めております。 また、現在のところ県が主催する登山レース等のイベントはありませんが、既存の大会等が安全かつ適切に実施されるよう、歩道の維持管理や利用ルールの周知といった側面から支援を行っております。
	年齢別にレースを実施し、特典を用意する。	今後も、地域の関係団体等と連携しながら、自然環境の適正な利用促進と利用者の安全確保に努めてまいります。
地域資源を活かしたテーマパークの設置	坂道や階段など自然の地形を活かして設計し、楽しみながら体力向上ができるようにする。	楽しみながら体力づくりができる環境を整えることは、幅広い年代の方にとって、とても効果的な取組だと思いました。 県では、自然に恵まれた環境や地域性を生かした公園づくりを進めており、「井頭公園」「那須野が原公園」「日光だいや川公園」では、自然の地形を活かしたフィールドアスレチックなどを設置しています。 今後も皆さんが楽しみながら体力づくりができる整備を進めていきたいと思っております。

## D：健康

---

意見概要	詳細（意見概要の補足説明）	意見に対する県の考えや取組状況、対応方針など
ペットと遊べる施設	ボランティア団体と連携し、ペットとのふれあいを通じて運動意欲を高める。	<p>ペットとのふれあいの場をつくることで行動範囲も広がり運動意欲向上につながる良い取組だと思いました。</p> <p>鬼怒川の河川敷にある「鬼怒グリーンパーク」では、県営都市公園で初めてドッグランを設置しました。小型犬から大型犬まで幅広い犬種が利用できるエリアを完備し、愛犬に合わせた安心な遊び場を提供しています。</p>

## D：健康

### 自然とのふれあい・地域活性

意見概要	詳細（意見概要の補足説明）	意見に対する県の考えや取組状況、対応方針など
自然公園の整備	日光市などの自然が豊かな場所で駅に近い場所に整備をする。	<p>自然公園は自然公園法に基づいて指定される国立公園や県立自然公園条例に基づき指定される県立自然公園の総称であり、自然景観の保護と適正な利用を目的とした区域です。これらの区域では、自然景観や生物多様性の保全を最優先とするため、施設の新設や整備には制限が設けられており、一般的な都市公園のような整備は行うことができません。</p> <p>そのため、駅周辺などへの新たな整備については、自然公園法の趣旨や区域ごとの保護と利用の両立を十分に考慮する必要があるため、ご提案の内容を実現することは難しい状況です。</p> <p>県としては、引き続き、既存の自然歩道や施設の適切な維持管理に努めるとともに、利用者の皆様に対して自然公園の情報発信や適切な利用を促す取り組みを進めてまいります。</p>
	リフレッシュや軽い運動を目的として活用する。	
一日農家体験	自治体や農家所有の土地で月2回程度実施する。	<p>農作業体験などを通じて農業や農村地域での交流への関心を高めることは重要だと考えています。</p> <p>このため県では、デジタルプロモーション「とちぎの農村めぐり」のWEBサイトやSNSを通じて、農作業や農村地域での宿泊等の体験の情報を発信しています。</p> <p>多くの方々に農村体験を楽しんでもらえるよう、イベントカレンダーやブログの発信内容を充実させるなど、引き続き、効果的な情報発信に努めてまいります。</p>
	農作業体験やアレンジレシピの紹介することで、若者の食生活改善、農業理解、地域交流を促進する。	

## D：健康

### 医療・健康支援

意見概要	詳細（意見概要の補足説明）	意見に対する県の考えや取組状況、対応方針など
AIを活用したオンライン・自宅診療	高齢者や障がい者など通院困難な方を対象に、AI診断支援による遠隔医療を提供する。	<p>医師法において、患者さんと対面しなければ得られない情報がとても重要であるため、医師が自ら診察をしないで治療を行う事は禁じられています。そのため、現時点でオンライン診療はあくまでも対面診療を補完する位置づけに留まっています。</p> <p>AIについても医療現場への導入が進むと考えますが、AIの診断が正しいかどうかは人の確認が必要であり、全てを委ねるのは難しいと思います。</p> <p>なお、一定の条件を満たした場合においては、医師と患者さんのオンライン診療などで診断の精度を上げる取組が進められています。</p> <p>また、高齢者や障がい者など通院が困難な方に対しては、医師や看護師などが自宅を訪問して医療を提供する「在宅医療」という選択肢もあります。県では、在宅医療提供体制の確保に向けて、必要な医療機器購入の支援や、研修会の開催等を通して在宅医療に関わる人たちへの支援等を行っています。</p> <p>今後もAIに限らず、医学の発展や社会情勢に応じて、患者さんの安全を担保した上で取組を進めていきます。</p>

# E：安心・安全

## 犯罪防止

意見概要	詳細（意見概要の補足説明）	意見に対する県の考えや取組状況、対応方針など
罰則の強化	刑罰を重くすることで、犯罪の抑止力を高める。	<p>刑罰は、国会が定める法律や、県の議会が定める条例などによって決められます。刑罰を重くすれば、罪を犯した場合、より長く刑務所に入ったり、より多く罰金が取られたりすることになるので、罪を犯すと不利益が大きくなると予想する人が増え、犯罪の抑止力を高めることが出来ます。一方で、軽い罪に対して、過重な刑罰を科すと人権を侵害することになります。</p> <p>そのため、社会情勢に合わせて、バランスが取れた刑罰を決めてなければなりません。よって、皆さんの代表として、選挙で選ばれた議員による議会で慎重に議論して刑罰を決めていくことが重要です。</p>
道徳教育の改善	犯罪者を生まないために、道徳教育を通して道徳心や社会性を育てる。	<p>道徳教育については、道徳科の授業を通して、自己を見つめ、生き方などについての考えを深めるだけでなく、学校の教育活動全体を通して、生徒一人一人が正しい行動を選び、判断できるよう、自分と向き合い、意識することが大切です。これからも、人としてよりよく生きるための基盤となる道徳性を育むために、栃木県が推進する「教え育てる道徳教育」の充実を図っていきます。</p>
支援制度の見直し	経済的困窮による犯罪を防ぐため、社会保障制度を整備する。	<p>経済的困窮からやむを得ず犯罪を犯してしまう方がひとりでも少なくなるよう社会保障制度を十分に整える必要があると思います。</p> <p>現在の制度では、生活保護や生活福祉資金、住宅確保給付金等の各種福祉制度を活用することによって、生活に困窮する者の生活基盤を支え、就労・住居支援を行うことによって、犯罪や再犯の防止に資するものと考えます。</p> <p>今後も十分な保障制度の整備に努めてまいります。</p>

## E：安心・安全

意見概要	詳細（意見概要の補足説明）	意見に対する県の考えや取組状況、対応方針など
護身術の教育	授業で武道などを教え、自己防衛力を高める。	保健体育の授業における武道については、学習指導要領に示す内容にそって実施しています。武道の内容に護身術については含まれていません。但し、授業とは別に不審者対応の避難訓練等で簡単な護身術について学んでいる学校もあります。
交番の増設	地域の治安維持のため、交番を増設する。	交番（駐在所）は、当該地域の人口、世帯数、事件・事故等警察事象の発生状況や地域の特性等のほか、庁舎の老朽化等の実態を踏まえ、統合再編を含めて必要性を検討し、新設、建替えを行っています。
	警察官など治安維持に関わる職業の者は、待遇を改善して魅力を高める。	警察官は、県民の安全と安心を守る魅力ある職業です。警察官が全力で職務に当たるには、プライベートの充実も不可欠です。栃木県警では、職員が仕事で十分なパフォーマンスを発揮できるよう、ワークライフバランスを整えるための制度や環境を整備し、職員の待遇改善に努めています。原則週休2日制の導入や年休取得目標を年20日に設定し、職員の休日確保に努めているほか、子育て支援休暇等の複数の休暇制度を用意しています。また、「栃木県警ベースボールクラブ」「栃木県警サッカークラブ」等のクラブ活動を充実させる等、福利厚生も大切にしています。今後も職員一人ひとりが、仕事もプライベートも大切にできる環境づくりに取組み、栃木県警の魅力を高めていきます。
防犯環境の整備	夜間の安心感と犯罪抑止のために街灯を増やす。	県では、安全で安心なまちづくりの推進に向け、周囲からの見通しの確保や「ながら見守り」など人の目による防犯対策に加え、防犯カメラの設置など、犯罪の防止に配慮した設備等の整備を推進しており、防犯カメラの有用性とプライバシーの保護との調和を図り、防犯カメラを適切かつ効果的に活用できるよう「防犯カメラの設置及び運用に関するガイドライン」を策定するとともに、「防犯カメラ活用の手引き」を作成いたしました。
	防犯カメラの存在をわかりやすく示し、犯罪を抑止する。	今後も防犯カメラの設置・活用について、地域住民の理解を深め、地域防犯力が強化されるよう、啓発に努めてまいります。

# E：安心・安全

## 災害対策

意見概要	詳細（意見概要の補足説明）	意見に対する県の考えや取組状況、対応方針など
ハザードマップの配布	災害時にネットが使えない場合に備え、紙の情報を配布する。	<p>紙のハザードマップは各市町において作成・配布を行っています。</p> <p>デジタルマップで最新の情報を手に入れることができますが、紙のハザードマップには「停電や通信障害時でも使える」「高齢者やデジタル機器を使わない方でも情報を入手できる」といったメリットがあります。</p> <p>また、平時から各家庭で安全な避難経路を確認することで災害時に焦らず安全に避難をすることができますので、是非、ご家庭に紙のハザードマップを常備し、ご家族との避難場所・避難経路等の確認にご活用ください。</p>
大型避難所の整備	多様な災害に対応できる避難施設を整備する。	<p>災害対策基本法という法律に基づき市町が既存の公共施設（学校の体育館や公民館等）を避難所に指定し運用していますが、それらの施設は災害時の避難を前提に作ったものではないため、避難所として使用するにあたり様々な課題があるほか、新たに避難所を整備する場合には、お金の工面という問題もあります。</p> <p>なお、令和6年に発生した能登半島地震では、トイレやあたたかい食事の不足、就寝環境の劣悪さなど、避難所の環境改善が大きな課題となりました。</p> <p>そのため、県では令和7年3月に市町が避難所運営のマニュアルを策定する際に参考とする栃木県避難所運営マニュアル作成指針を修正し、それらの避難所の課題に対し、市町が指針を参考にしながら対応出来るようにしました。</p> <p>県では、今後も、市町と一体となって避難所の環境改善に取り組んでまいります。</p>

## E：安心・安全

---

意見概要	詳細（意見概要の補足説明）	意見に対する県の考えや取組状況、対応方針など
河川の治水対策	川の掘削や堤防の設置により水害を防止する。	<p>水害から人や地域を守るために、川の掘削や堤防の設置はとても重要なことだと思います。</p> <p>県では、洪水時に川の水を安全に流すことができるよう、河川の拡幅や堤防の整備を行うとともに、堆積した土砂の除去や立竹木の伐採などにより、引き続き水害を防止するための取組を進めていきます。</p>

# E：安心・安全

## 交通安全対策

意見概要	詳細（意見概要の補足説明）	意見に対する県の考えや取組状況、対応方針など
歩道の拡張・自転車道の整備	交通事故を防ぐためにインフラを整備する。	誰もが安全で安心な日常生活を確保するため、学校・警察・道路管理者などが連携して、通学路を合同で点検し、安全対策の検討・実施に取り組んでいます。また、歩道の拡幅・自転車道の整備について、直近5年間の整備延長の目標値を定めており、計画的に整備を進めています。引き続き、誰もが安全で安心して利用できる道づくりを推進します。
免許更新期間の短縮	運転能力の定期的な確認をして、事故を予防する。	免許の更新期間については法律により、事故や違反のない方が5年、事故や違反のある方や初心者、高齢者は3年と定められ、必要な講習を受けることになっています。また、免許更新時以外に違反や事故を繰り返すと運転免許の取消や停止がされたり、必要な講習を受けることとなります。特に高齢者の方は、一定の交通違反をすると臨時認知機能検査を受けたり、免許更新時の運転技能検査に合格しないと免許が更新できないなど、様々な方法で交通事故を防止する制度となっています。更新期間やその内容については国がより良い制度になるよう必要に応じて改正をしています。

## E：安心・安全

意見概要	詳細（意見概要の補足説明）	意見に対する県の考えや取組状況、対応方針など
安全運転の啓発	看板や広告による注意喚起を行う。	<p>警察施設及び関係機関・団体等の掲示板を使用したポスター・チラシの掲示、横断幕、のぼり旗、ハンドプレート、広報誌、新聞広告、テレビCM、YouTube、Xを使用した注意喚起等を行っています。</p> <p>そのほか、各種会合や学校・企業等を訪問しての交通安全講話やシミュレータを用いた参加・体験型の交通安全教育や関係機関・団体と連携した街頭広報活動など様々な方法で交通安全啓発活動を展開しています。</p>
LRTの整備	高齢者の免許返納を促すために、公共交通機関を充実させる。	<p>高齢者が運転免許返納を検討して行く上でも、公共交通機関を充実させていくことは重要であると考えています。</p> <p>このため、県民の日常生活や社会活動の移動手段である公共交通のネットワークを維持・形成するために市町や交通事業者と連携して取り組んでいます。また、宇都宮市では高齢者の外出を支援するため、バスや地域内交通、LRTの乗車運賃として利用できる福祉ポイント付与事業を実施しています。</p>

## 詐欺対策

意見概要	詳細（意見概要の補足説明）	意見に対する県の考えや取組状況、対応方針など
免許講習との連携	車所有者が多いため、免許更新時に詐欺対策講座を併せて実施する。	<p>免許更新時に実施する講習については法律により、実施時間と内容が定められています。そのため免許更新を行う免許センターや警察署では待っている時間などに詐欺防止の講話や映像を流したり、チラシを配布するなどして詐欺被害に遭わないように取り組んでいます。</p>

## E：安心・安全

### その他の安全対策

意見概要	詳細（意見概要の補足説明）	意見に対する県の考えや取組状況、対応方針など
SNS利用制限	こどものSNS利用を禁止・制限し、ネット上の危険から守る。	県では、情報モラルやネットリテラシー教育の充実、フィルタリングの普及等が必要と考えており、講習会や研修の開催、保護者への啓発、有害サイトの監視、違法行為の取締り等、関係機関と連携しながら多面的な対策を進めていきます。
熊対策	熊の食べ物となる木の実を植えたり、熊用の動物園を設けるなど、人との接触を防ぐ工夫をする。	<p>人とクマが安全に共存するための視点として素晴らしいものですが、いくつかの課題もあり、実現するためには慎重な検討が必要となります。</p> <p>一方で、人との接触を防ぐことは、クマ対策としてとても有効であり、県としても、人との接触を防ぐという観点から、人の生活圏への出没を防ぐため、人とクマとのすみ分けを図ることを基本方針としています。</p> <p>このため、ゴミの適切な管理や、クマを誘引する庭先等の果樹の伐採、クマの隠れ場所となる草むらの刈り払いなどを進めるとともに、クマに出会わないためにはどのようにしたら良いかをHPやSNS、チラシなどを通じて発信しています。</p> <p>今後も、クマとの共存を図りつつ、皆さんが安心して暮らせるよう取り組んでまいります。</p>
火災予防	石油ストーブを廃止して火災リスクを低減させる。	石油ストーブは今も多くの方が利用していることから廃止することは難しいですが、冬季は特に石油ストーブなどの暖房器具からの火災が増えることから、火災リスクを低減させるために、住宅火災の予防に関するリーフレットの配布やポスター掲示、県ホームページでの火災に対する注意喚起などにより、県民の方への注意喚起を行っております。

## F：自然・環境

### 土地・農業の活用

意見概要	詳細（意見概要の補足説明）	意見に対する県の考えや取組状況、対応方針など
田畑の集約と機械化による農業の発展	土地を有効活用し、機械を使用し、農業を発展させる。	<p>農地の有効活用や、収穫作業等の効率化を図る農業機械の導入は農業の発展にとっても重要と考えます。</p> <p>そのため県では、機械の作業効率が向上するよう農地の区画を大きくしたり、農地を農業の後継者に集める取組を促進しています。</p> <p>また、薬剤散布用ドローンや自動で動くトラクターなどの機械の導入を支援することで、農業の効率化・省力化を図るスマート農業を進めているところです。</p> <p>農業人口が少なくなる中、スマート農業を県内全域に広め、本県農業の持続的な発展を図っていきます。</p>
企業への土地売却による活用	荒地を県が開拓し、企業に売却し、観光施設を整備する。	<p>利用されていない土地を有効に活用することは重要であると思います。</p> <p>民間企業と協力して受入環境を整備する有効な取組の一つとして参考にさせていただきます。</p> <p>また、県ではデジタルプロモーション等を活用した観光誘客を行っています。整備された際は、県公式観光サイトや各種パンフレット、SNS等でPRしてまいります。</p>

## F：自然・環境

### 観光地の整備・魅力向上

意見概要	詳細（意見概要の補足説明）	意見に対する県の考えや取組状況、対応方針など
日光東照宮周辺の整備	道の整備や不要な木の伐採など、県の支援を受けて観光客が訪れやすくする。	<p>観光客が安全・安心に訪れることができる道路環境を整備することは、地域の活性化にもつながる重要な課題と認識しています。</p> <p>これまで県では、日光東照宮周辺の国道119号（東武日光駅～日光橋間）において、歩道の拡幅や電線類の地中化、バリアフリー化などを平成15年度から進めているところであり、引き続き観光客がまち歩きを楽しみながら地域の魅力を体感できる環境づくりを目指していきます。</p>
中禅寺湖・滝の美化と活用	水上アスレチックをつくったり、プロジェクトマップングをして、SNSを通じて魅力発信を行う。	中禅寺湖や華厳滝については、本県を代表する景勝地であり、これまでも県公式観光サイトやYoutube等で取り上げ、その魅力を発信してきたところです。引き続き、SNS等でも四季折々の表情などを積極的にPRしていきます。

## F：自然・環境

### ごみ・リサイクル・環境美化

意見概要	詳細（意見概要の補足説明）	意見に対する県の考えや取組状況、対応方針など
ごみ拾い活動の推進	学校や企業（飲食店やコンビニエンスストアなど）と連携したキャンペーンを実施する。	<p>学校や企業と一体となってゴミ拾い活動を行うことで、地域全体で環境美化の意識が高まることが期待できるため、とても良い取組だと思いました。</p> <p>県では、ごみ拾いキャンペーン「とちぎ530（ごみゼロ）プロジェクト」（10月1日～12月26日）を実施しており、小売店と連携し、県民の皆様へのゴミ拾い活動への参加を呼びかけています。今後も地域全体での取り組みを進めてまいります。</p>
報酬制度の導入	<p>ごみ拾いの参加回数や量・種類に応じて、栃木県内で使える商品券などを提供する。</p> <p>リサイクルボックスを設置し、ペットボトルを集めるとポイントが付く仕組みをつくる。</p>	<p>「とちぎ530（ごみゼロ）プロジェクト」では、キャンペーン参加者に抽選で宿泊券や商品券などが当たるとともに、連携している小売店のリサイクルボックス等の取組を紹介しています。ポイント付与等については、予算や管理体制の整備など課題が多く、全県的な導入は難しいですが、今後の持続可能なインセンティブ制度検討の参考とします。</p>
ごみ散乱防止対策	<p>ゴミステーションのガードをネットではなく、ロッカー型にすることでカラスによる被害を減らす。</p> <p>ポイ捨て防止のために公共スペースにゴミ箱を増設する。</p>	<p>家庭ごみ（一般廃棄物）に係る施策は市町の事務であり、ゴミステーションの設置は一般的に自治会等が費用を負担をして設置しております。ご意見については、市町への情報共有等に努めます。</p> <p>また、自分が出したごみは持ち帰るなど責任をもって処分することが原則であると考えます。ゴミ箱増設については、危険物混入や管理体制の確保など難しい点も多いですが、ご意見として市町等との情報共有等に努めます。</p>

## F：自然・環境

### 緑化・自然保護・土地管理

意見概要	詳細（意見概要の補足説明）	意見に対する県の考えや取組状況、対応方針など
街路樹の植樹	駅につながる大通りなどに木を植えることで、緑化を促進する。	<p>まちづくりの一貫として街路樹を植樹することは、環境の改善や景観向上につながるため、良い取組だと思います。</p> <p>現在、都市のシンボルとなるような街路においては、近隣地域にお住まいの方々の意見や道路の維持管理などを考慮して、街路への植樹を行っています。今後も意見等を取り入れながら取り組んでまいります。</p>
特定外来生物の駆除	ポイント制で外来種の駆除活動を行い、生態系を守る。	<p>クビアカツヤカミキリの被害防止には、地域ぐるみでの駆除活動が効果的であり、例えば足利市では市民の「クビアカ見つけ隊」による駆除活動や、参加型イベント「クビアカバスターズ」で捕獲数を競うなど、県民が楽しみながら防除を進めるなどの取り組みがなされており、これらは有効な方法の一つと考えております。</p> <p>一方で、ポイント制度の導入には、様々な課題があるため、今すぐに行政として制度化することは難しい状況です。</p> <p>県としては、外来生物による被害を防止するため、引き続き、市町や関係機関、県民の皆様と協力しながら、駆除活動の支援や情報提供に努めてまいります。</p>
放置地・雑木林の整備	市区町村に専用の役職を設け、放置された土地や雑木林の手入れを行う。	<p>県では、「とちぎの元気な森づくり県民税」を活用し、地域の憩いの場となる身近な里山林の整備及び維持管理や、通学路の安心安全確保のため隣接する暗くうっそうとした里山林を見通し良く整備するなどの支援を行っております。</p> <p>また、市町村が森林の所有者から森林の経営管理を受託する仕組みとして「森林経営管理制度」がスタートしています。この制度を活用し、手入れが行き届いていない森林のうち、林業経営に向かない森林については、市町村が森林の整備を進めているところです。</p>

## F：自然・環境

### 自然エネルギーの活用

意見概要	詳細（意見概要の補足説明）	意見に対する県の考えや取組状況、対応方針など
雷発電の技術開発	雷が多い栃木県の特徴を活かし、雷を利用した発電技術を宇都宮大学の研究課題として推進する。	<p>県では、脱炭素社会の実現に向け、地域特性を踏まえながら太陽光・水力・バイオマス等の再生可能エネルギーの導入拡大を図っており、ご提案いただいた雷発電は、本県の特徴を活かし地域資源を活用する先端的な取組となる可能性があるため、今後の参考とさせていただきます。</p> <p>また、産業技術センターの保有機器を用いて、開発装置や構成部品の評価・解析等の支援が可能です。そのほか、技術相談や共同研究等により、大学と連携した課題解決の支援が可能です。</p>

### 都市空間・地域活性化

意見概要	詳細（意見概要の補足説明）	意見に対する県の考えや取組状況、対応方針など
低コスト木材を使った住宅企業の誘致	環境に配慮した住宅づくりを推進する。	<p>豊富な資源量を誇り、優れた品質と強度性能を誇る栃木県産木材の利用拡大は、地産地消につながり環境に配慮した住宅づくりに寄与すると考えております。そのため、県では、栃木県産木材を活用した住宅の新築等を支援しております。</p> <p>大手ハウスメーカー等で採用される木材は、外国産木材が主流であることから、今後、これらを栃木県産木材に転換してもらうよう取り組んでまいります。</p>